## Kyoto City Child Rearing Support Center Kodomomiraikan



京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

# 研究・研修だより /

令和6年度 第4回共同機構研修会

### ~子どもたちの生活と音楽~

#### 講師 平井 恭子さん (国立大学法人) 京都教育大学幼児教育科 教授

平井先生は、幼稚園の先生を経て、教員養成の仕事や子どもの音楽的発達に 関する研究を重ねてこられました。御自身のお子さんの観察から、音楽や歌が 乳幼児期の子どもたちの成長発達に如何に関わっているかを、映像教材「音楽 的な遊びに見る乳幼児の発達しとしてまとめておられます。



前半は、赤ちゃんと養育者の間で成り立つ、共感 的で同調的なコミュニケーションの重要性や、園生 活の中で子どもの表現がいつどのように生まれるの か、また、子どもたちの表現を豊かに育むために保 育者が心がけるべきことは何かなどについてお話し いただきました。後半は、参加者が一体となって実 際に音楽的な遊びを楽しみ、会場全体が笑顔や笑い 声で包まれました。

子どもの何気ない音との出会いを見過ごさ ず大事にしていくこと、思わず自分の思いを 歌いたくなるような楽しい経験をたくさん すること、わらべ歌を保育の中に取り入れて いくこと、子どもの表現を受け止め深めてい きながら、子どもたちが園・所で経験する音 楽との出会いを大事にしていくことなどを学 ばせていただきました。

#### <受講者のアンケートより>

♪幼児期における音楽の大切さを 再確認できた。学んだことを保育 に取り入れていきたいです。音楽 について学びながら、みんなで楽 しく関われてよかったです。



♪みんなで音を合わせることって 楽しいなあと改めて感じることが できる体験でした。子どもたちと もいろいろな音や歌を奏でていき たいです。

♪体が動くと心も動き、自然と声 が出て楽しめました。子どもたち ともやってみようと思います。



♪からだで感じるのは とても大事なことだと わかりました。

「リズム」って難しく 考えなくても、自然の 遊びの中でたくさん触 れられるんだな。



♪スティックや布一つでも色んな遊 び方があることを知ることができま

♪わらべ歌に合わせた布遊び、ボー ル遊びなどとても楽しめました。明 日からの保育でも実践したいです。 ♪応用してたくさん使いたいです。

♪初めての方とも笑顔で楽しめた! ♪他の先生方とコミュニケーション をとりながらいろんなことを実践で きてとても楽しかったです。

#### フィールド研修 只今申し込み受付中!

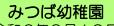
#### 周山保育所

令和6年9月4日 \*1~2歳児・異年齢クラス の保育見学



令和6年11月8日 \*4・5歳児の保育見学





令和6年9月19日 \*3歳児の保育見学



壬生保育所 令和6年12月18日 \*1歳児・2歳児・異年齢クラス の保育見学



昨年度からスタートした『フィールド研修』。今年度は、保育所2か所と幼稚園2園が、フィールドとして御協力してくださいます。他園・所の保育を見る機会なんてなかなかありませんよね。ぜひこの機会に「共同機構」として所属の垣根を越えて、互いの保育から学び合いましょう。

メールにてお申し込みください。《kenshu@kodomomirai.or.jp》

## 昨年度参加者の感想

見学に行く前に、どのような視点を持って見学に行くかを改めて考え、自分自身の中で保育所の課題などを見つめ直し提出したことで、この研修への意図がより明確になったと感じています。

また、見学の後に、担任の先生も交えて振り返りの時間を設けて頂いたので、疑問や質問を話すことが出来、保育所としての異年齢保育のこれまでの経緯について話が聞けたこともとても勉強になりました。このような機会に参加させて頂き、ありがとうございました。

自立を育てるために、自分でやってみたい気持ちを大切にする丁寧な関わり方、声のかけ方などを今回の研修で学んだので、ぜひ活かしていきたいと思いました。手作りおもちゃも、たくさん参考になったので、作ってみたいと思いました。

他園の保育を見る機会はほとんどなく、今回見せていただいた事で、改めて自分のいつもの保育を立ち止まって振り返るきっかけとなりました。「こんな時、こんな風に言葉がけすると子どもに響くかな?」 と先生方の動きを見ながら、考察する事ができました。本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

大変学びの多いフィールド研修でした。園のあちこちで、次々に変化していく子どもたちの遊びに、『子どもたちが主体的に遊び、夢中になって取り組む姿を大切にした環境設定や教師の関わり』をたくさん拝見することができました。

子どもを育む喜びを感じ、 親も育ち学べる取組を進めます。



この印刷物が不要になれば「雑がみ」としてと古紙回収等へ!

発行日 令和6年8月7日

発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館

〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1 Tel: (075)254-5001 Fax: (075)212-9909 URL: https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/